

「総合病院でのスピリチュアルケアの実践」

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 熊野宏治

<略歴>

2005年に作業療法士免許取得。がん専門作業療法士、呼吸療法認定士、呼吸ケア指導士、心臓リハビリテーション指導士、認定作業療法士。臨床では呼吸・循環・がんなどの内部障害に対する作業療法に携わる。大阪保健医療大学非常勤講師、四条畷大学臨床講師。

第5回・第12回・第21回関西がんチーム医療研究会 優秀演題受賞。論文は「緩和ケアチームにおける作業療法士の役割」「トータルペインに対する作業療法」「呼吸器疾患に対する作業療法」「間質性肺炎に対する作業療法」などを執筆。

<講義概要>

病院といった医療機関では病気の治療に意識の志向性（関心）が向きやすく患者が抱いている思い・願い・価値観などのナラティブな部分は見逃されやすいように感じています。終末期がん患者など治療により客観的な事実を変えることができない状況では患者自身の思い・願い・価値観など主観的な事実とのギャップに苦しみ、スピリチュアルペインを抱きます。この苦しみ、スピリチュアルペインを軽くし・なくすることができるのは作業療法士が大切にしている傾聴という作業の実践ではないでしょうか。当日は村田理論をベースにスピリチュアルケアをわかりやすくお伝えし作業療法士としてこれからのスピリチュアルケアの指針を皆様と共有できれば思っております。どうぞ宜しくお願い致します。